

訪問看護 ステーション便り

No.60

訪問看護ステーション
(TEL32 - 2416)



国は、団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向けて『在宅医療』を推進しています。その中で、訪問看護師の増加にも力を入れており、新卒の看護師が訪問看護師として働けるよう教育基盤の整備がされています。

私たち訪問看護師の役割は...

1.在宅医療を支えるさまざまな職種がある中で、医療職としてご自宅での暮らしを支える。



2.地域の方へお出かけ講座や広報ほのかなどを通して、持病の悪化予防や在宅看取りなどについてお伝える。また、次世代を担う中学生へ、職場体験や共育などを通して情報をお伝える。などがあります。

訪問看護ステーションの活動状況

所在地 鳳来保健センター内
(右地図の赤い点。市役所はオレンジの点)

職員 看護師11人、事務1人

訪問エリア 新城市内全域
(作手地区は診療所が主に対応)

体制 24時間対応体制
(当番の看護師が電話を持ち帰り電話対応・必要時緊急訪問)

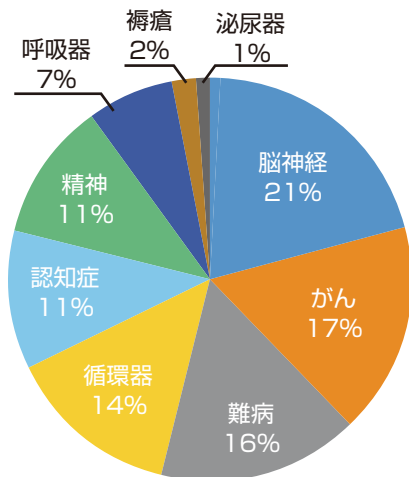
利用者数 97人(7月1日現在)

主治医 27施設39人

年間看取り件数 20~30件

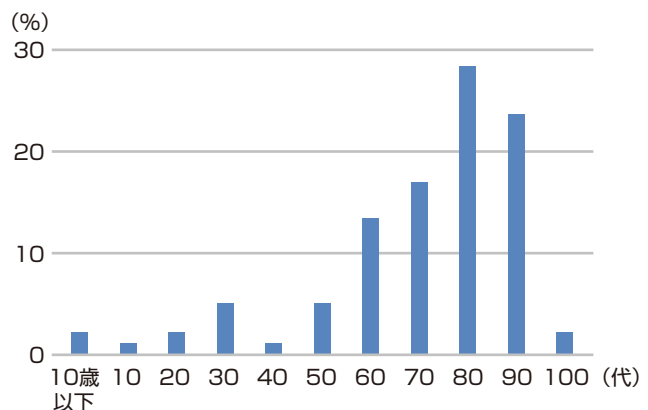


疾患別 (主病名)



主病名のデータでは「生活習慣病」が多い傾向にあります。高齢の方は、主病名のほかにも複数の持病をお持ちです。

年齢別



0歳から高齢者まで利用されていますが、80歳以上が半数以上を占めています。

ご家庭には一軒一軒大切な人生や生活があり、それぞれの歴史やこだわりが詰まっています。私たちは「その人が思い描く人生・生活」に近づけるよう、その人らしさやご家族の思いを大切にして、寄り添い、安心して過ごせる環境を提案しています。